

事務事業名		分収林造林事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	18	終了	28
H27担当課等名	林務課		H27係等名	林業振興係		H26係等名		林業振興係						
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり											
目的	対象(誰・何を)	市有林(南信濃地区)			対象指標	指標名及び単位			26年度数値					
	意図(どうい状態にするか)	保育施業を実施し、健全な森林作りを進める				分収造林契約面積(ha)			3450					
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)												
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)					
	成果指標	分収造林契約地の施業面積(ha)			57.46	57.46	30	21						
	定性目標													
事業概要	独立行政法人森林総合研究所より受託し、保育施業及び森林国営保険の更新を行う。													
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標					
	1 受託事業 (1)分収造林契約地の保育施業を行う。施業は業務委託 兔洞団地、諸河内団地、池口山団地 (2)森林国営保険の更新を行う H26は更新がない見込み				1 受託事業 (1)除伐計画要望面積(ha) (2)保険料(円)				1 (1)除伐 I 40.46ha 改植 10.00ha 生物害防除 7.00ha					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足								
事業費計(千円)①		20,133	24,039	8,453	0	(そ)諸収入(分収造林受託事業収入)								
国庫支出金														
県支出金														
起債														
その他		20,133	24,039	8,453										
一般財源														
人件費計(千円)②		358		358										
正規職員所要時間		100		100										
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		20,491	24,039	8,811	0									
事業内容・目標達成状況の振り返り	施業面積については、国の予算措置により増減があったが、市有山林の保育施業を継続的に行うことができた。													
改革改善の考え方	①問題点	国の施策により、事業費に大幅な影響を受ける。また、森林総合研究所の存続も危惧されている。												
	②改革提案	危惧されている森林総合研究所の存続を国に要望するとともに、今後も分収造林契約地の整備を継続していく。												